

○H 2 9 法奥小学校 3 年生が「ブナの森たんけん学習」をしました

9月6日水曜日、十和田市立法奥小学校3年生19名が、十和田市奥瀬幌内山国有林80林班ろ小班内ブナの巨木「森の神」で、「ブナの森たんけん学習」を行いました。この学習は、法奥小学校が取り組んでいる「みどり学習」の一環として、実際にブナの森に行き、森の多面的な役割やそこで生きる生物の大切さなどを学ぶ活動で、三八上北森林管理署と連携して毎年実施しています。

当日は、保護
柵に囲まれた
幹回り6m、樹
高30.2m、推
定樹齢約40
0年のブナの
巨木「森の神」
の前で、輪にし



全員入れる太さ！

た6mのロープを広げたり、輪の中に入ったりしてその大きさを実感しました。森の役割、大切さについて職員から説明を受けた後、付近を散策。ブナやトチの実、キノコを見つけた子供たちから、「ここには何種類の木があって何本あるの？」、「キノコはどのようにして生えるの？」、「木の根の長さはどれくらい？」などの質問に森林官や参加した署員が丁寧に答えました。

最後に子供たちから、「ブナの種を初めて見た」、「ブナの木の年齢、太さがわかった」、「ブナ以外にも、いろんな木を見れてよかった」などの感想を聞くことができました。この学習をとおして、子供たちの森林に対する理解が少しでも深まっていれば、我々も嬉しい限りです。



森林の大切さについて勉強中。



ブナの実発見！



木の高さは何m？